

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすくと学ぼう 夢つぼもう

横浜市立美しが丘小学校

令和元年10月31日



美小通信7

横浜市情報教育ネットワーク(YI ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

ラグビーワールドカップ

副校長 松木 康将

2019年4月に美しが丘小学校に赴任しました松木康将と申します。どうぞよろしくお願いたします。

ラグビーワールドカップが開催され、日本の大活躍に感動しました。ラグビーのゲーム終了のことをノーサイドといいます。

これは、ゲームが終わったら敵も味方もないという意味を込めてノーサイドなのだそうです。(現在では日本のみで使われているようで、他国ではfull set と言っているそうです。)

日本がスコットランドに28-21で勝利し、史上初の8強入りを果たしました。

日本が敗退したスコットランドに対し、労いの花道をつくって拍手で迎えると、スコットランドもお返しにと、労いの花道をつくって拍手で迎えたそうです。日本は勝ってうれしいでしょうし、スコットランドは負けて悔しいでしょう。

しかし、勝ち負けではなく、長い時間必死に試合をした両チームをたたえあうその姿に感動しました。

台風19号の影響で、釜石鶴住居復興スタジアム(岩手・釜石市)で13日に開催予定だったラグビーW杯カナダ対ナミビア戦が中止となりました。

釜石市がキャンプ地のカナダ代表は、同市ボランティアセンターの職員とともに、浸水被害に遭った地域で約2時間にわたり、道路の泥かきや浸水した住宅から家具を運び出す作業にあたったそうです。

ボランティアには、ヘッドコーチやスタッフを含む18人が参加しました。カナダ代表の方から、「災害を目の当たりにし、自分たちにできることがあれば」と問い合わせがあったそうです。

ナミビア代表は、キャンプ地の宮古市でファン交流を行ったそうです。同チームから「被害に遭った市を元気づけたい」との申し出があり、キャプテンを含む25人の選手たちが、宮古駅前と市庁舎周辺で30分ほど、握手や写真撮影などに応じてくださったそうです。

試合でないところでもたくさん感動する場面がたくさんありました。海外では「ノーサイド」という言葉は使わなくなっても、ノーサイドの精神は世界中で生きているんだと思いました。

5月に行われた本校の運動会。優勝を目指して紅組と白組が徒競走、玉入れ、騎馬戦、台風の日を一生懸命頑張り応援していました。その中で、応援合戦では紅組、白組それぞれを励ましあうエール交換がありました。運動会が終わり得点発表の後、優勝した紅組に白組も大きな拍手を送っていました。本校の児童には、ノーサイドの精神がしっかりと身につけていたのだと再確認しました。

